

第53回日本菌学会年次大会

開催日 平成21年5月23日(土)・24日(日) 会場 鳥取大学湖山キャンパス

日本菌学会第53回大会が、来る5月23～24日、鳥取大学湖山キャンパスにおいて開催されます。当大会が鳥取県で開かれるのは、1966(昭和41)年の創立10周年記念大会、1994(平成6)年の第38回大会に次いで3回目となります。

日本菌学会は、他の学術学会と較べると会員数1,200名余りと少ないものの、東北、関東、西日本の3支部を擁する全国的規模の学会であり、その研究領域は糸状菌(かび)、酵母そしてキノコを含む菌類全般の分類・生態学、細胞・形態学、遺伝・育種学、生理・生化学、分子生物学、分子遺伝学、さらにはキノコ利用開発学など広範囲の専門分野に及んでいます。鳥取の地は、早くから鳥取大学農学部において

植物の病原菌類であるサビ病菌の分類研究、二十世紀梨黒斑病菌の感染機構の解明と防除に関する研究、さらには(財)日本きのこセンター菌草研究所を中心に食用キノコ類の総合的研究が活発になされてきた先進地域であります。また最近では、鳥取大学農学部設置された菌類きのこ遺伝資源研究センターでの菌類資源科学研究の新展開など、菌類きのこ研究の最前線地域とも言えます。このような地で第一線で活躍されている研究者が全国から集う菌学会大会が開催されることは、鳥取の地が「鳥取の菌学研究」の伝統を継承し、さらなる研究活動の活性化と発展を図っていく上で意義深い機会となるものと期待しております。



(財)日本きのこセンター菌草研究所長
日本菌学会
第53回大会会長 福政幸隆

第31回全国伝統的建造物群保存地区協議会倉吉大会

開催日 平成21年5月20日(水)～22日(金) 会場 倉吉未来中心

伝統的建造物群とは、歴史的な建物などが伝えられている集落や町並みを文化財として保存する制度です。この伝統的建造物群のうち、わが国にとって特に価値が高いと判断されるものが「重要伝統的建造物群保存地区」(以下、重伝建地区)に選定されています。現在、71市町村、83地区が重伝建地区に選定されていますが、鳥取県では、倉吉市の打吹玉川保存地区、鳥根県では大田市の石見銀山保存地区と温泉津保存地区となっています。

この重伝建地区が所在する市町村で組織されていますのが標記の協議会であり、来年度の総会が5月20日から22日の三日間、倉吉市で開催されます。全国から行政関係者や住民の方々々が約200人参加され、総会以外に行政担当者の研修会や重伝建地区の住民が参加される意見交換会、視察などが行われます。「倉吉町並み保存会」の方々とも市が協力し、手

作りの運営をおこない、鳥取県の魅力を発信する機会にしたいと考えています。

——— 倉吉市教育委員会文化財課



四季の訪れに感謝、大地の恵みに感謝。

各種宴会
様々なご宴にお応えします
日帰り入浴
トータル紙石使用 大人 300円
レストラン
和食、ホルモン鍋

大山やすらの前
らっぴー
CHATEAU ODAKA
TEL(0859)39-3701
鳥取県米子市尾高2377
http://chateau-odaka.jp

至米子IC
米子道
なが倉 産科外科
至津江IC
米子道
●銀行
●大丸

足りないモノは現地調達!!

株式会社 NCPサプライ

- 横断幕製作 ●特急チラシ印刷 ●コピー&製本
- 大判カラーデータ出力 ●大判カラーコピー
- 大判ラミネート加工 ●大判スキャニング収録

最寄りの支店にお電話ください。

米子支店 TEL(0859)35-2862
倉吉支店 TEL(0858)48-1161
鳥取支店 TEL(0857)31-3591
松江支店 TEL(0852)55-6253

10190842(Q1)
JISQ3001:2004準拠